

受診時の注意事項

※封筒裏面で対象年齢が確認できます

若年者健診・特定健診・後期高齢者健診

若年者健診・特定健診の受診者で血圧や糖など基準に該当し医師が必要と認めた人は心電図検査、眼底検査があります。

40歳～74歳の集団健診受診者、65～74歳の個別健診受診者は上記基準に該当しない人も心電図検査があります。

《注意事項》

- ・ 脱いざり着たりしやすい服装でお越しください。
 - ＊ 事前に、腰部のコルセットや腹巻等を外しておくと測定がスムーズに受けられます。また、ボディスーツの着用は控えください。
- ・ 集団健診では、事前発送指定日までに予約が済んだ場合、採尿容器が自宅に郵送されますので、予約時間の5時間前以内に採尿して受診時に提出してください。それ以外の人は会場で採取となります。
- ・ 前日はアルコールの摂取や激しい運動は、控えてください。肝機能検査等の結果に影響を及ぼす可能性があります。
- ・ 現在医師により内服薬を処方されている方は、健診を受けることを事前に主治医に伝え、内服についてご相談ください。

午前の健診の場合

◎当日の朝食は、とらずにお越しください。血糖等の検査結果に影響を及ぼすため健診前日の午後9時以降は水やお茶以外の摂取はしないでください。

午後の健診の場合

◎朝食は、軽めに午前8時頃までにすませて昼食はとらずにお越し下さい。

結核・肺がん検診

《下記の人は受診できません》

- 妊娠中及び現在妊娠の可能性のある人

《下記の人は事前に主治医に確認の上、受診してください》

- 現在通院中の人や過去に何らかの手術を受けられた人

《注意事項》

- ・ ネックレス・湿布・磁気入り絆創膏は控えてください。
- ・ 刺繍・プリントのついている下着は着用しないで下さい。
 - ＊ ボタン・金属のついていない無地の下着であれば着用したまま撮影できます。
- ・ 65歳以上の方は、結核検診の対象です。

《喀痰細胞診検査》【該当事者のみの実施】

容器を検診時に渡します。早朝痰3日分を蓄痰し、指定日に提出してください。

胃がん検診

「胃透視（バリウム）」又は「胃内視鏡検査（胃カメラ）」のどちらか一方を選んでいただきます。（両方受診することはできません。）

胃内視鏡検査は医療機関で受けることができます。昨年度、南島原市の胃がん検診で胃内視鏡検査を受けられた人は、

今年度の胃がん検診の対象となりますのでご注意ください。

《胃透視:検査前の注意》

安全に検診を受けていただくため、検査に対する同意の署名をいただきます。

また、当日の体調(血圧等)により、検診を延期していただく場合もあります。

- ・ 前日の夜9時以降は、何も食べないでください。少量の水または湯冷ましは、検診を受ける2～3時間前までであれば飲んで構いません。
- ・ 当日は、たばこ、ガム、のど飴も控えてください。
- ・ ネックレス・湿布・磁気入り絆創膏は控えてください。
- ・ 刺繍・プリントのついている下着は着用しないで下さい。
 - ＊ ボタン・金属のついていない無地の下着であれば着用したまま撮影できます。
- ・ 胃がん検診を受けられる方で、現在医師により内服薬を処方されている方へ
 - ＊ 検査を受けることを事前に主治医に伝え、内服についてご相談ください。
 - ＊ 降圧剤を服用中の方は、受診する2時間ほど前までに少量の水で内服してください。
 - ＊ 糖尿病の薬は、低血糖による事故防止のため、検査終了後、食事の際に服用してください。

《胃内視鏡検査:検査前の注意》

受診される医療機関にお尋ねください。

《胃透視:下記の人は受診できません》

- 妊娠中及び現在妊娠の可能性のある人
- 以前バリウム検査後にアレルギー症状があった人
- 当日の血圧が180/110mmHg以上の人

《胃透視:下記の人は事前に主治医に確認の上、受診してください》

- お茶や水等を飲む時よくむせる人
- 以前バリウムを誤嚥した人
- 現在、体調が悪い人
- 現在通院中の人や過去に何らかの手術を受けられた人
- 潰瘍性大腸炎やクローン病などの大腸疾患やその他の持病がある人

《胃内視鏡検査:下記の人は受診できません》

- 胃内視鏡検査に関する十分な説明後に検査を受ける事に同意されない人
- 妊娠中の人
- 入院中の人
- 胃疾患で受療中の人（ピロリ除菌中の人含む）
- 胃全摘術後の人

《胃内視鏡検査：下記の人は胃内視鏡検査をしてはいけないことになっています》

- のどや鼻などに重い病気があり内視鏡の挿入ができない人
- 呼吸不全のある人
- 急性心筋梗塞や重い不整脈などの心疾患がある人
- 明らかな出血傾向またはその疑いがある人
- 収縮期血圧が極めて高い人（高血圧治療中の場合は、検査直前に血圧を測り、受検の可否を判断）

胃がんリスク検査

血液検査で胃の状態を診ることにより、胃がん発生リスクを判定する検査です。胃がん検診に代わるものではありません。

大腸がん検診

《注意事項》

- ・ 採便容器は検診の予約後、自宅に郵送されますので、添付してある説明書をよくお読みになり、2日分採取して受診時に提出して下さい。（集団健診）なお、事前発送指定日より後に予約された方は、会場で採便容器をお渡ししますので、後日決められた日時・会場に提出して下さい。
 - ＊ 便の保存は温度が大切です。できるだけ涼しいところに保管してください。冷蔵保存しておくと、より正確な検査ができます。
- ・ 大腸がん検診のみ受ける人で当日来所できない人は、代理受付ができます。但し、問診がありますので前もってご確認下さい。

《下記の人は事前に主治医に確認の上、受診してください》

- 現在通院中の人や過去に何らかの手術を受けられた人
- 潰瘍性大腸炎やクローン病などの大腸疾患やその他の持病がある人

前立腺がん検査【男性のみ】

前立腺は男性特有の臓器です。

特定健診同時実施の場合は、その血液を利用します。PSA(前立腺特異抗原)の濃度を調べます。

肝炎ウイルス検診【集団健診のみ】

満40歳となる人と、41歳以上の人で過去(健診もしくは医療機関において)に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人が受診できます。

受診会場においてお申し出ください。

腹部エコー検査（腹部超音波検査）【集団健診のみ】

《検査前の注意》

- ・ 前日の夜9時以降は、何も食べないでください。少量の水または湯冷ましは、検診を受ける2～3時間前までであれば飲んで構いません。
- ・ 当日は、たばこ、ガム、のど飴も控えてください。
- ・ 腹部エコー検査を受けられる人で、現在医師により内服薬を処方されている方は、検査を受けることを事前に主治医に伝え、内服についてご相談ください。

子宮頸がん検診【女性のみ】

安全に検診を受けていただくため、検査に対する同意の署名をいただきます。

子宮体がん検診【該当事者のみの実施】

子宮頸がん検診受診時に、医師が必要と認めた人のみ個別健診で受診できます。

「子宮頸部＋体部」を受診した場合、個人負担金は、1,200円です。無料クーポン券での子宮体がん検診はできません。

乳がん検診【女性のみ】

《下記の人は受診できません》

- 妊娠中及び現在妊娠の可能性のある人
- 心臓ペースメーカーを装着の人
- 豊胸手術を受けられた人
- 授乳中の人、断乳3か月未満の人
- V-Pシャント施術を受けている人

骨粗しょう症検診【集団健診のみ】

《下記の人は受診できません》

- 妊娠中及び現在妊娠の可能性のある人